

広報 なんたん もくじ

②	特集・この手に握る「夢のたま」
⑧	はじまっています市民協働
⑩	インフォメーション ・議員定数26人→22人へ ・9月から可燃ごみ袋をリニューアル! ・南丹ものづくりの祭典
⑫	行政トピックス ・「元気ねっと!五ヶ荘」協定調印式 ほか
⑭	いきいき南丹
⑮	人権の窓/環・境・市・民
⑯	図書館へようこそ!/暮らしにホッと
⑰	ぶらりなんたん
⑱	みんなのひろば ・2009南丹そのべ夏まつり ほか
⑳	なんたんミュージアム/わが家のアイドル

今月の表紙

南丹地域に生まれた新たなブランド「京のつちたま」を作る職人の手。小さなつちたまの穴の周りを丁寧に整えます。一つ一つに作り手の心が表れ、心癒やされる素朴さと夢がつまっています。

この手に握る

「夢のたま」

「京のつちたま」って知ってる?

丸くて、淡くて、優しい、土の玉。大きいのが小さいの、まんま一つ一つに表情や個性があり、どれにも温かさが感じられます。

「京のつちたま」。それは、柔らかいパステルカラーのつちたまが揺れる、焼きもののアクセサリ。南丹地域で生まれた新たなブランドです。ネックレス、ストラップ、ピアス&イヤリング、ヘアゴムなど、12色のつちたまから組み合わせられて商品になっています。大量生産されるものとは違い、すべてが手作りのため、まったく同じものは2つとありません。それこそが、この「京のつちたま」の魅力であり、持ち味なのです。

この「京のつちたま」を作っているのは、南丹圏域の就労支援事業所で働く皆さん。さまざまな障がいのある方々が共働して創り出す美術品であり、誇り高きものづくり商品です。

色も魅力の一つ、こだわりがあります。上塗りするのではなく、原料となる土に顔料を練り込みます。そのまま焼きしめるので、土が本来持つ温かさや柔らかさ、大地のパワーが感じられます。現在12色で、平安時代に季節ごとの色に衣装を組み合わせたと「襲(かさね)の色目」を取り入れています。それぞれに意味があり、それを結び合わせる遊び心もあります。作り手の真つすぐな思いが、商品を手にとった人々の感性と重なり合い、そこにまた新たな価値が生まれます。